

令和7年度 学校教育自己診断アンケート結果(報告)

1、回収率

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
児童生徒(%)	65/274(24%)	61/277(22%)	61/268(23%)
保護者(%)	139/271(51%)	154/271(57%)	143/262(55%)
教職員(%)	125/118(106%)	119/119(100%)	114/114(100%)

・アンケートの回答方法：google フォーム（児童生徒及び保護者はアンケート用紙でも回答可能）

・令和7年度教職員アンケートにおいて、誤って重複回答が送信されたため、回収率が100%を超える結果となりました。

2、集計結果

(1) 児童生徒アンケート

		はい	いいえ	わからない
1	学校へ行くのは楽しいですか。	86.5% 88.5%	1.9% 3.3%	10.2% 8.2%
2	小学部「先生は中学部や高等部になった時のことを話してくれますか」 中学部「先生は高校生になった時のことを話してくれますか」 高等部「先生は校内実習や事業所見学、体験実習を通して、卒業後のことを一緒に考えてくれますか」	57.7% 55.0%	4.6% 2.9%	36.2% 41.1%
3	先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。	81.4% 85.5%	2.8% 0.0%	15.8% 14.3%
4	先生は、マナーやルールなど、勉強以外のことも教えてくださいませんか。	95.4% 90.5%	0.0% 1.6%	4.6% 7.8%
5	学校の給食はおいしいですか。	93.9% 90.3%	0.0% 4.6%	6.1% 5.0%
6	先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	95.4% 88.5%	1.4% 1.6%	3.2% 9.9%
7	先生はパソコンや iPad を使って勉強を分かりやすく教えてくださいませんか。	83.3% 84.0%	2.8% 2.9%	13.9% 11.5%

※%の数値は全て四捨五入で記入 ※上段 令和7年度 下段 令和6年度

アンケートの回答は、「はい」「いいえ」「わからない」の3つの選択肢で構成しています。このうち、「はい」を肯定的評価、「いいえ」を否定的評価として集計しました。

また、肯定的評価が70%以上の項目を「達成の基準」、否定的評価が30%以上の項目を「課題」として捉えています。

- ・70パーセント以上の肯定的評価は、7項目中6項目。
- ・30パーセント以上の否定的評価は、7項目中0項目。

(2) 保護者アンケート		肯定的	否定的	わからない
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	93.4% 87.8%	5.1% 9.2%	1.4% 3.2%
2	教職員は、子どもの実態・課題にあった授業を行っている。	94.0% 90.4%	3.2% 2.6%	2.8% 7.1%
3	教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育（進級、進学、就労等）を行っている。	84.8% 80.0%	0.9% 1.2%	14.3% 19.3%
4	教職員は子どもが困っていることや嫌なこと（いじめを含む）があれば、真剣に対応してくれる。	93.3% 84.2%	1.9% 4.2%	4.8% 11.8%
5	教職員は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にする心や社会ルールを守る態度の育成に努めている。	90.6% 86.3%	0.9% 1.2%	8.5% 2.8%
6	教職員は、子どもの様子や必要な事項を懇談会や授業参観、連絡帳、便りなどによって発信している。	97.6% 94.9%	1.4% 3.4%	1.0% 1.7%
7	教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。	93.5% 88.7%	1.5% 6.7%	5.0% 3.7%
8	教職員は、授業参観や学校行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	91.5% 89.7%	7.1% 6.7%	1.4% 3.7%
9	教職員は、子どもの障がいについて理解している。	97.7% 92.0%	1.8% 4.3%	0.5% 3.7%
10	教職員は、子どもたちの学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	95.0% 91.0%	1.8% 1.4%	3.2% 7.7%
11	教職員は、パソコン、大型テレビ、iPadなどのICT機器を効果的に活用している。	92.8% 87.3%	1.4% 2.3%	5.8% 10.6%
12	教職員は、防災対策、防災教育を適切に行っている。	84.8% 85.3%	0.0% 0.0%	15.2% 15.2%
13	教職員は、子どもの個人情報の取り扱いに配慮している。	89.3% 83.6%	0.0% 0.0%	10.7% 6.7%
14	教職員は、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	97.6% 94.5%	1.4% 3.2%	1.0% 2.3%
15	教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。	96.3% 91.5%	2.3% 3.9%	1.4% 4.7%
16	子どもは、学校の給食を楽しみにしている。	87.4% 85.6%	6.2% 7.9%	6.4% 6.9%

※%の数値は全て四捨五入で記入 ※上段 令和7年度 下段 令和6年度

アンケートの回答は、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5つの選択肢で構成しています。このうち、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて 肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせて 否定的評価として集計しました。

また、肯定的評価が 70%以上 の項目を「達成の基準」、否定的評価が 30%以上 の項目を「課題」として捉えています。

- ・70パーセント以上の肯定的評価は、16項目中16項目。
- ・30パーセント以上の否定的評価は、16項目中0項目。

(3) 教職員アンケート		肯定的	否定的	わからない
1	教職員は、教育活動について、教職員間で日常的に話し合っている。	95.4% 95.8%	3.6% 3.4%	1.6% 0.8%
2	教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	87.6% 82.4%	10.4% 12.6%	2.6% 5.0%
3	教職員は、命の大切さや社会のルールを守る態度の育成をめざした生活指導をしている。	95.4% 96.6%	2.0% 2.5%	3.2% 0.8%
4	教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	91.1% 87.4%	4.3% 5.9%	5.2% 6.7%
5	教職員は、児童・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰、不適切な指導を見逃さない体制を整えている。	96.8% 95.0%	3.7% 4.2%	0.0% 0.8%
6	教職員は、児童・生徒や保護者が悩みや疑問を気軽に相談できる体制を整えている。	92.8% 93.3%	4.8% 2.5%	3.0% 4.2%
7	教職員は、学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	94.4% 95.8%	3.6% 3.4%	2.6% 0.8%
8	教職員は、児童・生徒の学校での様子を、連絡帳や便り、HP などを通して積極的に伝えている。	96.4% 95.8%	1.6% 4.2%	2.6% 0.0%
9	教職員は、児童・生徒の実態・課題にあった授業を行っている。	96.4% 93.3%	2.6% 3.4%	1.6% 3.4%
10	教職員は、保護者が授業参観や学校行事に参加しやすいように配慮している。	90.2% 94.1%	6.8% 4.2%	3.6% 1.7%
11	教職員は、児童・生徒の学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	89.3% 90.8%	8.2% 7.6%	3.0% 1.7%
12	教職員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を日々の指導に活かしている。	96.0% 92.4%	2.6% 5.0%	2.0% 2.5%
13	教職員は、防災対策、防犯対策を適切に行っている。	93.7% 94.1%	5.9% 4.2%	1.0% 1.7%
14	教職員は、学年会、部会、分掌などの各種会議を、意見交換や合意形成の場として有効に機能させている。	93.7% 91.6%	4.3% 7.6%	2.6% 0.8%
15	教職員は、食育に関する指導を工夫し、児童・生徒の興味・関心を広げている。	93.2% 89.9%	4.8% 6.7%	2.6% 3.4%
16	校長は、自らの教育理念や学校運営の考えを明らかにし、リーダーシップを発揮している。	70.3% 83.2%	21.1% 12.6%	9.2% 4.2%
17	学校納付金の使い道を概ね理解できている。	78.0% 86.6%	14.8% 8.4%	7.8% 5.0%
18	行事の計画について、事務職員と教員の連携が取れている。	85.3% 89.1%	8.2% 4.2%	7.1% 6.7%
19	児童・生徒の健康状態について、保健室と教員で共有できている。	97.0% 97.5%	2.6% 1.7%	1.0% 0.8%

※%の数値は全て四捨五入で記入 ※上段 令和7年度 下段 令和6年度

アンケートの回答は、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」「わからない」の5つの選択肢で構成しています。このうち、「そう思う」「だいたいそう思う」を合わせて 肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」を合わせて 否定的評価として集計しました。

また、肯定的評価が 70%以上 の項目を「達成の基準」、否定的評価が 30%以上 の項目を「課題」として捉えています。

- ・70パーセント以上の肯定的評価は、19項目中19項目。
- ・30パーセント以上の否定的評価は、19項目中0項目。